

公益財団法人認定記念

児島塊太郎

—文化交流展—

呉越と



児島塊太郎「織部面取壺」
高さ36.0×幅22.0×奥行22.0cm



呉越「墨竹図」高さ70.5×幅35.0cm

2015.2.21(土)~3.15(日) 笠岡グランドホテル 1F 銀杏の間

開館時間/10:00~17:00 休館日/毎週月曜日 観覧無料

主催/公益財団法人ワコースポーツ・文化振興財団

後援/笠岡市教育委員会・山陽新聞社・RSK山陽放送・TSCテレビせとうち・

OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・RNC西日本放送・笠岡放送・FM笠岡

お問い合わせ先/公益財団法人ワコースポーツ・文化振興財団 電話:0865(62)5670

[イベント] オープニング: 2015年2月21日(土)10時~ ギャラリートーク: 会場にて、児島塊太郎氏・呉越氏



児島塊太郎「織部舟形花器」
高さ31.0×幅33.0×奥行17.5cm



呉越「赤い花」高さ48.0×幅91.0cm

当財団は平成5年ワコースポーツ振興財団として発足し、平成10年文化事業を加え、平成12年ワコーミュージアムがオープンしました。

この度、平成25年の公益財団法人への移行を記念して「児島塊太郎と呉越—文化交流展—」を開催する運びとなりました。

平成12年大原美術館が開館70周年を迎え、山陽新聞事業社の主催で「児島虎次郎画伯の足跡を訪ねて」というタイトルで大原理事長を団長として旅をし、欧州を一巡した後平成19年から「児島虎次郎画伯と呉昌碩を訪ねて」の旅で再度中国を訪れました。

それらの旅では毎回呉昌碩記念館を訪ね、曾孫にあたる呉越館長にお会いして中国の文化活動についてお話を伺うとともに氏の絵画作品も拝見しました。

そうした契機からワコー財団が主催して中国と日本の文化交流展実現の運びとなりました。

何卒、お二人の友情溢れる作品の数々をご高覧下さいますようご案内申し上げます。

ワコー財団 理事長 吉岡洋介



(交通のご案内)

- ・山陽自動車道笠岡ICより車で約15分。
- ・笠岡駅よりタクシーで約5分、笠岡港よりタクシーで約5分。
- ・笠岡駅より徒歩で約20分。